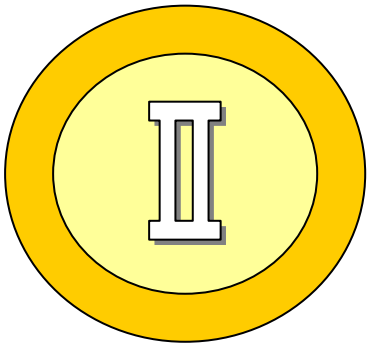


平成29年度
予算の概要

平成29年度は、『区民の誰もが安全・安心に、夢と希望を持って暮らせる躍動感に満ちた活力ある港区を実現するための予算』として編成しました。

ここでは、予算規模、収入と支出の内訳など、平成29年度予算の特徴を概要で紹介します。

平成 29 年度予算の特徴

一般会計予算額 ： 1,661 億 5,000 万円（過去最高額）

一般会計予算は、近い将来発生が危惧される首都直下地震等へ備え、発災後、区主導で迅速かつ地域に即した復旧・復興を実現するための震災復興基金へ 380 億円を積立てたことなどにより、過去最高の 1,661 億 5,000 万円、前年度比 458 億 2,000 万円、38.1%の増加となりました。

なお、財政調整基金から震災復興基金への組替えによる繰入金及び積立金が増加となった臨時的要因を除くと、1,281 億 5,000 万円、前年度比 78 億 2,000 万円、6.5%の増加となります。

[参考]　当初予算額の大きかった年度

	平成26年度	平成21年度	平成28年度
当初予算額	1,397億2,000万円	1,323億2,900万円	1,203億3,000万円
主な事業	・様々な公共施設の竣工（みなとパーク芝浦、白金の丘学園、麻布子ども中高生プラザ等、西麻布いきいきプラザ等など） ・臨時福祉給付金	・用地取得（麻布子ども中高生プラザ、芝浦小学校等） ・校舎・園舎等の整備（港南小学校等、三田中学校、高陵中学校など）	・マンションエレベーター安全装置設置助成 ・客引き防止プロジェクト ・みなとタバコルール推進 など

＜平成 29 年度予算編成の考え方＞

平成 29 年度予算は、「区民の誰もが安全・安心に、夢と希望を持って暮らせる躍動感に満ちた活力ある港区を実現するための予算」として、全国の地方自治体をリードする、港区ならではの質の高い行政サービスを区民の皆さんが生活の様々な場面で実感できるよう編成しました。

＜一般会計歳入＞

特別区民税収入は、人口の増加や雇用・所得環境の改善に伴い、前年度比 4.9%増の 666 億 3,310 万円と堅調に増加する見込みです。

＜一般会計歳出＞

予算編成方針で掲げた３つの重点施策へ財源を重点配分します。

１「安全・安心で快適な都市の魅力を発展・成熟させる取組」　448 億 2,302 万円
２「夢と希望に満ちた子どもの明るい未来につなげる取組」　103 億 8,012 万円
３「住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられるための取組」　19 億 7,356 万円

そのほかにも、新郷土資料館やシティハイツ六本木の複合施設が竣工を迎えるなど、基本計画前期３年の最終年度として計画計上事業を確実に実施します。

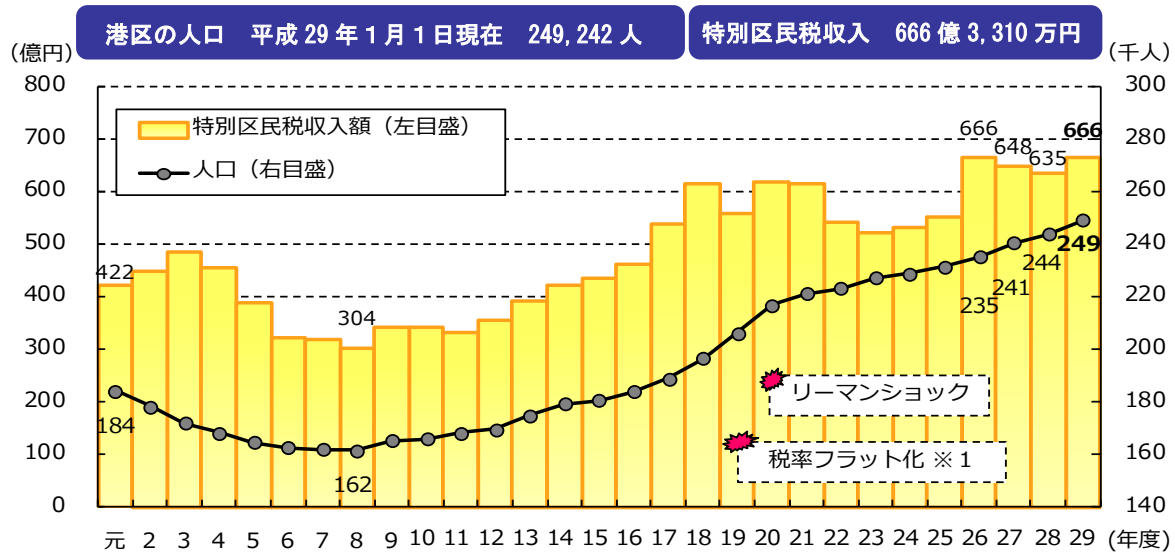
＜具体的な取組＞

目の前の課題解決から将来の備えまで積極的・戦略的に取り組みます。

- **震災復興基金積立て**
- **子どもの未来応援施策**
- **待機児童ゼロに向けての保育施設の整備**
- **働き盛り世代の健康を守るがん対策の充実**
- **東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた施策の推進**

● 人口と特別区民税収入の推移

全国的に人口が減少しているなか、年少人口、生産年齢人口及び老年人口のいずれの世代においても増加し、特別区民税収入も堅調に増加する見込みです。



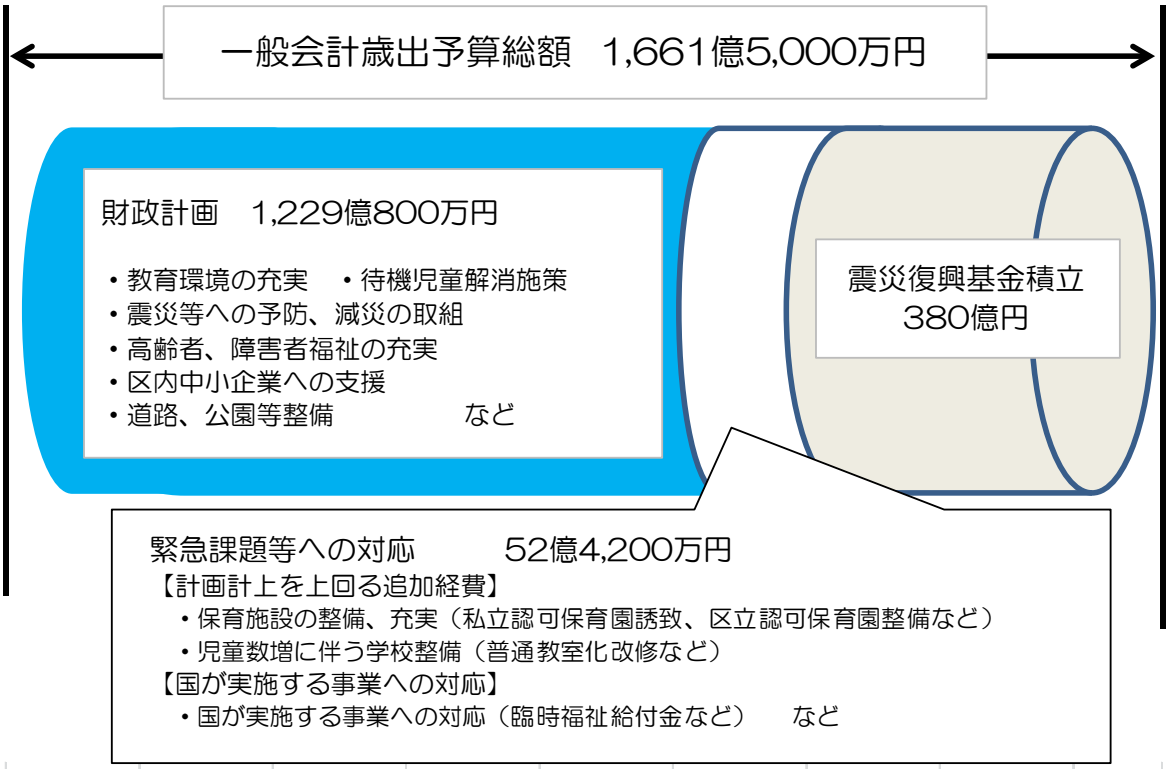
※1　税率フラット化とは、平成 19 年度から、課税総所得金額に応じて個人住民税の税率が、それまでの 3 段階（5、10、13%）から一律に 10%（都民税含む）へ統一された、国の三位一体改革による税制改正です。

※2　特別区民税収入は、平成元～27 年度は決算額、28～29 年度は当初予算額です。

※3　人口は各年 1 月 1 日現在数で、外国人住民を含んだ数です。

● 緊急課題に迅速かつ柔軟に対応する予算フレーム

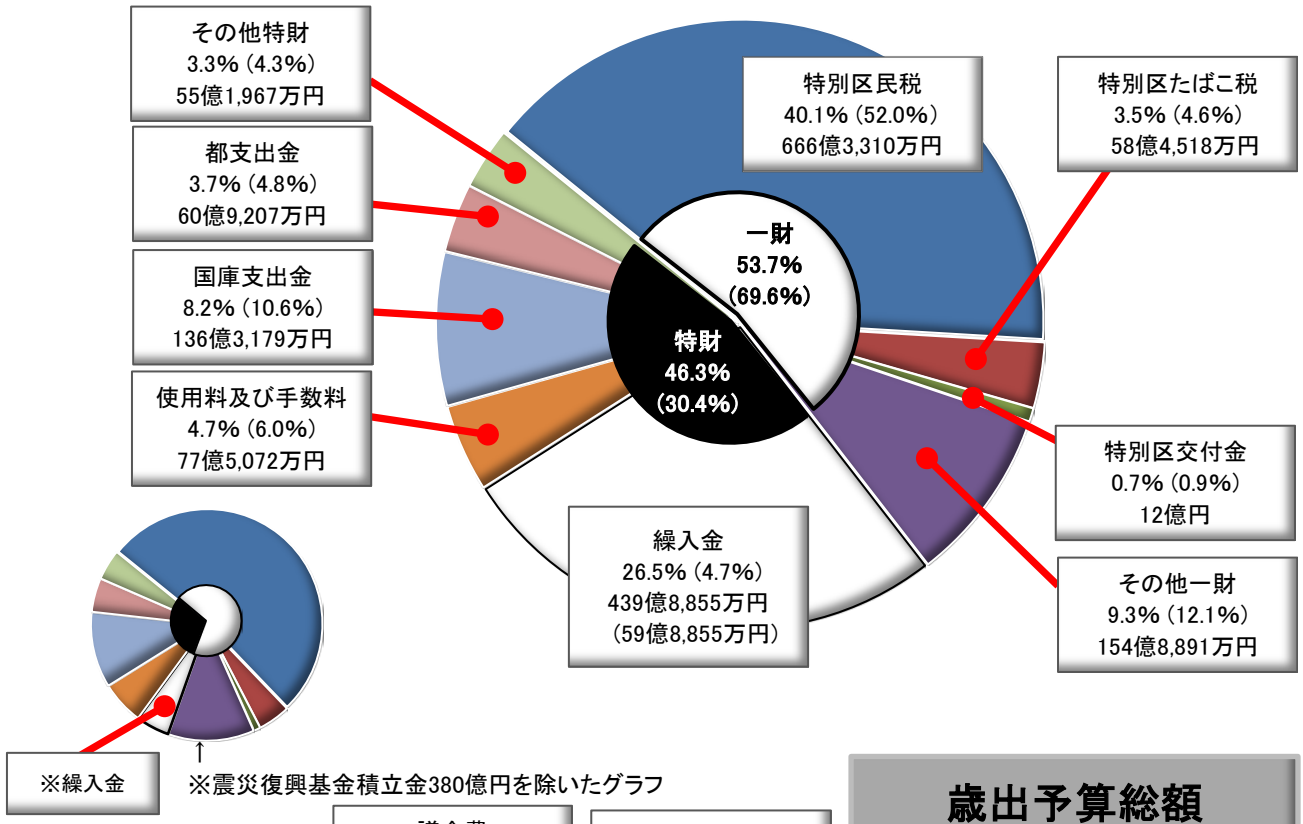
人口増加に伴う需要や新たなまちづくりに的確に対応していくことに加え、今後発生が見込まれる首都直下地震発生等の突発的な財政需要に備えるため、平成 34 年度末に震災復興基金の残高を 1,000 億円と定め、29 年度末までに 500 億円の残高を確保するとともに、予防・減災の強化・充実にもこれまで以上に力を入れて取り組みます。



平成29年度一般会計歳入歳出予算の内訳

歳入予算総額
1,661億5,000万円
(1,281億5,000万円)

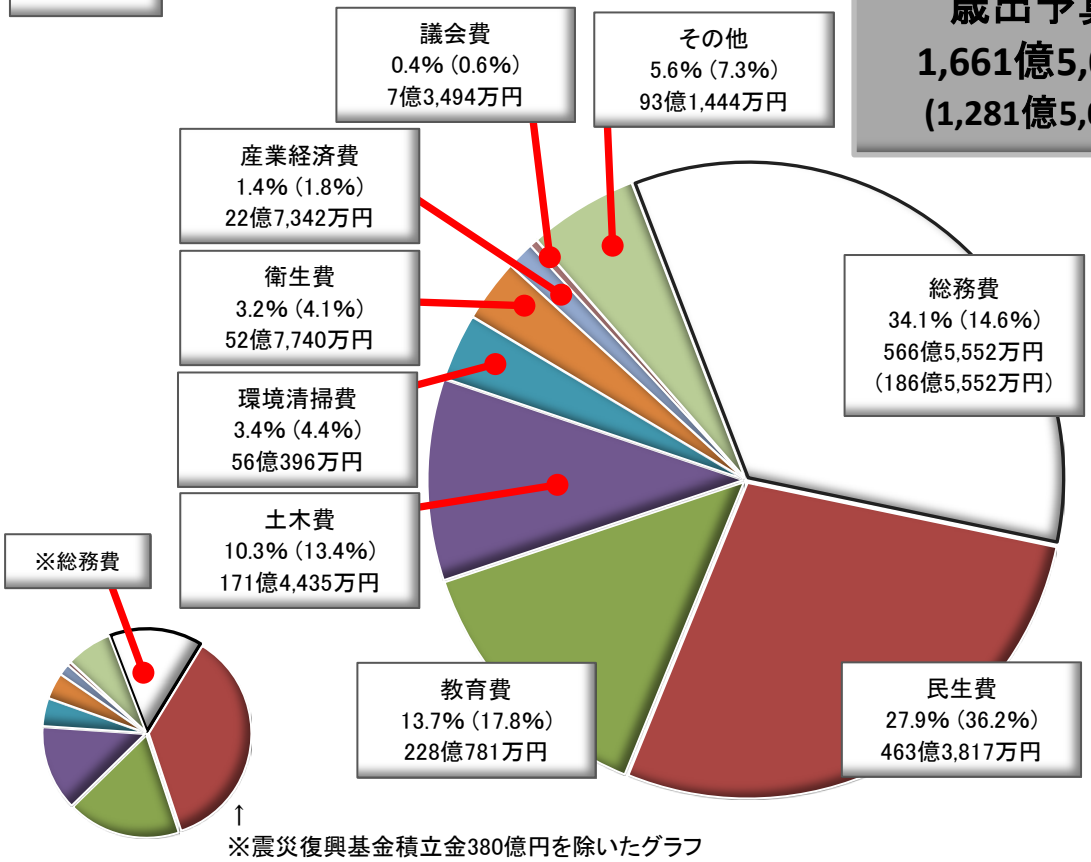
※グラフ中表記
一 財・・・一般財源。使途が特定されていない財源。
特 財・・・特定財源。使途が特定されている財源。
(　)・・・(　)内は震災復興基金積立金380億円を除いた金額、構成比。



※繰入金

↑
※震災復興基金積立金380億円を除いたグラフ

歳出予算総額
1,661億5,000万円
(1,281億5,000万円)



※総務費

↑
※震災復興基金積立金380億円を除いたグラフ

平成29年度一般会計歳出予算の内訳

一般会計歳出予算を、区民サービス一人当たりに換算＜1,661億5,000万円÷249,242人＞すると、約666,600円（約514,200円）になります。わかりやすく、目的別にお示しすると以下のとおりです。

※（　）は震災復興基金積立金380億円を除いた金額です。

区役所等の運営に

総務費
約 227,300円
（約 74,800円）

●区役所や総合支所の運営
●防災対策の推進

福祉の充実に

民生費
約 185,900円

●保育園の整備
●高齢者・障害者福祉の推進

教育の振興に

教育費
約 91,500円

●幼稚園、小中学校の運営
●生涯学習・スポーツの推進

道路・公園・まちづくりに

土木費
約 68,800円

●道路・公園の整備、管理
●区民住宅の建設、管理

環境・清掃に

環境清掃費
約 22,500円

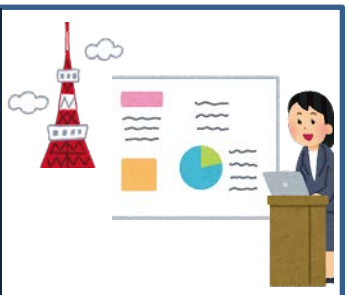
●清掃、リサイクル推進
●環境保全、公害対策

保健・衛生に

衛生費
約 21,200円

●感染症予防、健康推進
●食品衛生、獣医衛生

産業振興に



産業経済費
約 9,100円

●産業振興
●観光振興

議会の運営に

議会費
約 2,900円

●区議会の運営

その他

約 37,400円

●公債費
●他会計への繰出し